

問 1. 先生が責任者・実務担当者となって作成された診療ガイドラインについてお聞きします。

問 1-1 当該ガイドラインの改定予定年（もし決まっていれば）をご記入ください。

改定予定年	1: 決まっている () 年 (既に改定したのものも含みます) 2: 決まっていない
-------	--

問 1-2 (組織) 診療ガイドライン作成に従事したメンバーの方についてお聞きします。
メンバーの人数、それぞれの専門分野について下表に記入してください。

メンバー総数		人
メンバーの背景	当該疾患・診療科の専門家	人
	当該疾患の診療に従事する一般医	人
	臨床疫学・生物統計・EBM の専門家・ライブラリアン	人
	医療経済学者	人
	患者代表	人
	その他（具体的な背景と人数）	人

問 1-3 上記のうち、過去に EBM 手法に基づく診療ガイドライン作成の経験を有している方はいらっしゃいますか。

1 はい () 人 2 いいえ

問 1-4 メンバーの選出はどのような方法で行いましたか。最もあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1 学会の推薦
- 2 研究代表者の個人的な依頼
- 3 その他（具体的に：)

問 2. 診療ガイドラインを作成した費用についてお聞きします。

問 2-1 診療ガイドラインを作成した費用についてお聞きします。
直接に必要な費用はいくら位でしたか 約 () 千円

問 2-2 上記の金額には、メンバーの人件費は含まれていますか？
1 はい 2 いいえ

「2 いいえ」の場合、メンバー1人当たり作業に要した時間はどれくらいですか
約 () 時間

問 2-3 診療ガイドライン作成の総費用における、厚生労働科学研究費、その他の公的な研究費、学会の負担支出等の内訳をお答えください。

厚生労働科学研究費	約 () %
その他の公的な研究費	約 () %
学会の負担	約 () %
その他 ()	約 () %
合計	100 %

問 3. 文献検索についてお聞きします。

問 3-1 使用したデータベースは何ですか。それぞれの言語について使用したデータベースを全て記入してください。

日本語	(<u>使用したもの全てに○をつけてください</u>) 1. 医学中央雑誌 2. JMED 3. その他 ()
英語	(<u>使用したもの全てに○をつけてください</u>) 1. PubMed 2. Cochrane Library 3. その他 ()
その他言語	名称・言語を記入してください。

問 3-2 文献検索においてライブラリアン、その他の文献検索の専門家の支援を受けましたか。
1 はい 2 いいえ

問 3-3 診療ガイドラインのデータベース (National Guideline Clearinghouse など) を利用した検索は行いましたか。
1 はい 2 いいえ

問 3-4 過去に作成された当該疾患・関連疾患の診療ガイドラインを参考にしましたか。
1 はい 2 いいえ

問 4. 文献の系統的評価についてお聞きします。

問 4-1 実際に文献の系統的評価に従事した（以後「評価者」といいます）のは何人ですか。
 () 人

問 4-2 評価者を対象にした、研修は実施しましたか。
 1 実施した 2 実施しなかった



「1 実施した」場合、その内容・要した時間・研修中に読んだ論文数などについて具体的に記入してください。

--	--

問 4-3 系統的評価の対象となった論文はいくつありましたか。

	論文数	1 論文あたりの評価者数※
文献検索で得られた論文数		
評価シート（構造化抄録）を作成した論文数		
診療ガイドライン作成に実際に用いた論文数		

※論文の評価を 1 人の評価者が行った場合には「1」と記入してください。
 2 人でダブルチェックした場合には「2」と記入してください。

問 4-4 論文の評価にあたって判断が異なるなど疑事を生じた場合には、どのようにして意見を集約しましたか。**最もあてはまるもの 1 つに○をつけてください。**

- 1 疑事を処理するための専門家パネルを設置した
- 2 複数の評価者で合意形成を行った
- 3 その他（具体的に：)

問 5. 情報が得られない場合の対応についてお聞きします。

問 5-1 当該疾患の自然経過・検診方法・診断方法・治療方法などについて、EBM の手法により診療ガイドラインを作成するための情報は十分に得られましたか。それぞれについて、最もあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

(自然経過について)

- 1 25%以下 について情報を得ることが出来た
- 2 26-50%以下 について情報を得ることが出来た
- 3 51-75%以下 について情報を得ることが出来た
- 4 76-100% について情報を得ることが出来た

(検診方法について)

- 1 25%以下 について情報を得ることが出来た
- 2 26-50%以下 について情報を得ることが出来た
- 3 51-75%以下 について情報を得ることが出来た
- 4 76-100% について情報を得ることが出来た

(診断方法について)

- 1 25%以下 について情報を得ることが出来た
- 2 26-50%以下 について情報を得ることが出来た
- 3 51-75%以下 について情報を得ることが出来た
- 4 76-100% について情報を得ることが出来た

(治療方法について)

- 1 25%以下 について情報を得ることが出来た
- 2 26-50%以下 について情報を得ることが出来た
- 3 51-75%以下 について情報を得ることが出来た
- 4 76-100% について情報を得ることが出来た

問 5-2 情報が得られない場合についてはどのように対応しましたか。

最もあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1 「情報がない」と診療ガイドラインに記載したのみ
- 2 「情報がない」と記載するとともに、当該部分については継続して調査研究の課題とした
- 3 「情報がない」と記載するとともに、専門家パネルにより治療方法などの推奨を行った
- 4 その他 (具体的に：)

問 6. 関係団体との連携・調整についてお聞きします。それぞれについて、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

関係学会・研究会など	1 診療ガイドライン作成の最初から協同して進めた 2 診療ガイドラインの原案ができた段階で、意見を聴取した 3 診療ガイドラインが公開された後に、パブリックオピニオンとして意見を聴取した 4 その他（具体的に： <input type="checkbox"/> ） 5 連携・調整を目的とした活動は行わなかった
一般医の代表（医師会など）	1 診療ガイドライン作成の最初から協同して進めた 2 診療ガイドラインの原案ができた段階で、意見を聴取した 3 診療ガイドラインが公開された後に、パブリックコメントとして意見を聴取した 4 その他（具体的に： <input type="checkbox"/> ） 5 連携・調整を目的とした活動は行わなかった
患者団体など	1 診療ガイドライン作成の最初から協同して進めた 2 診療ガイドラインの原案ができた段階で、意見を聴取した 3 診療ガイドラインが公開された後に、パブリックコメントとして意見を聴取した 4 その他（具体的に： <input type="checkbox"/> ） 5 連携・調整を目的とした活動は行わなかった
その他（具体的に：）	1 診療ガイドライン作成の最初から協同して進めた 2 診療ガイドラインの原案ができた段階で、意見を聴取した 3 診療ガイドラインが公開された後に、パブリックコメントとして意見を聴取した 4 その他（具体的に： <input type="checkbox"/> ） 5 連携・調整を目的とした活動は行わなかった

問 7. 診療ガイドライン編集方法についてお聞きします。

問 7-1 薬剤名の取り扱いはどうしましたか。

- 1 原則として一般名を用いた 2 原則として商品名を用いた

問 7-2 医療保険で認められていない治療方法についての取り扱いはどうしましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 診療ガイドラインの対象としなかった
 2 医療保険の対象でないことを明記して、診療ガイドラインで取扱った
 3 医療保険については特に明記せず、診療ガイドラインで取扱った

問 7-3 編集にあたって、特に留意した点は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 臨床現場での一般医の利用しやすさ
 2 専門医の意見を取りまとめてコンセンサスを形成すること
 3 推奨内容が臨床現場で実施できるかどうかという導入可能性
 4 推奨内容の医学的・科学的な正確性・厳密性
 5 EBM手法に忠実に従うこと
 6 電子化しやすいこと・電子媒体での提供
 7 医療費の低減・効率的な医療の提供
 8 国民向けの知識の提供
 9 その他（）

問 7-4 その他、編集にあたって苦労された点がありましたらお書きください。

具体的に：

問 8. 診療ガイドラインを普及させるための方策としてどのようなことをしていますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 インターネットで公開した（学会、研究会等のホームページ）
- 2 インターネットで公開した（Minds－医療機能評価機構）
- 3 専門医向け診療ガイドラインを印刷して頒布した
（製作部数： ）
- 4 一般医向け診療ガイドラインを印刷して頒布した
（製作部数： ）
- 5 国民向け診療ガイドラインを印刷して頒布した
（製作部数： ）
- 6 診療ガイドライン紹介用の視聴覚教材（DVD 等）を作製した頒布した
（製作部数： ）
- 7 診療ガイドラインの要約をパンフレットにして頒布した
（製作部数： ）
- 8 診療ガイドラインを学会誌・医学関係雑誌に掲載した
- 9 診療ガイドラインをテーマにしたパネル、シンポジウムなどを学会で行った
- 10 その他（具体的に： ）
- 11 普及を図るための活動は行っていない

問 9. 診療ガイドラインを評価するための活動は行っていますか。下記のうちあてはまるもの全てに○をつけてください。

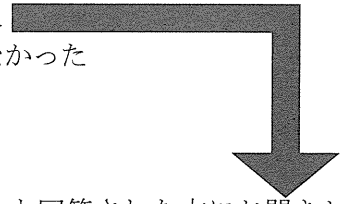
- 1 診療ガイドラインの専門家に評価してもらった
- 2 作成メンバーとは別の当該疾患の専門家に評価してもらった
- 3 診療ガイドラインを使用する一般医に評価してもらった
- 4 患者代表から評価してもらった
- 5 診療ガイドラインを公開して、一般からの意見を聴取した（パブリックコメント）
- 6 既存の診療ガイドライン評価ツールを用いて評価を行った
（評価ツールの具体名： ）
- 7 診療ガイドラインに基づいた治療結果についての評価を行った
- 8 診療ガイドラインに基づいた医療経済評価を行った
- 9 診療ガイドラインの使用状況について調査を行った
- 10 その他（具体的に： ）
- 11 評価は行っていない

問 10. 「AGREE 評価票」(診療ガイドラインを評価するためのツール) についてお聞きします。

参考までに AGREE 調査票を同封いたします。

問 10-1 AGREE についてどの程度ご存知ですか。

- 1 内容を知っており、診療ガイドライン作成に実際使用した
- 2 内容を知っているが、診療ガイドライン作成には使用しなかった
- 3 名称だけは知っている
- 4 知らない



「1 内容を知っており、診療ガイドライン作成に実際使用した」と回答された方にお聞きします。

問 10-2 診療ガイドライン作成のどの段階で使用されましたか。

- 1 作成段階
- 2 作成後の評価
- 3 その他 ()

問 10-3 どの診療ガイドライン作成で使用されましたか。 あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 今回、アンケートの対象となっている診療ガイドライン
- 2 その他の診療ガイドライン

問 10-4 AGREE を実際に使用されて、評価手法としての有用性についてどのように思われましたか。

- 1 有用
- 2 どちらかといえば有用
- 3 どちらかといえば役に立たない
- 4 役に立たない

「3、4」の場合、そのように判断された理由をお教えてください。

問 11. 診療ガイドライン作成全般で苦勞されたのはどの点ですか。 あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 組織の編成
- 2 文献検索の方法
- 3 文献の系統的評価
- 4 情報がない部分の取り扱い
- 5 日本人についての情報がないこと
- 6 編集取りまとめ作業
- 7 関連団体との連絡・調整
- 8 治療の標準化・EBM についての周囲の誤解
- 9 予算の不足
- 10 診療ガイドラインの専門家の協力が得にくいこと
- 11 その他 (具体的に :)

問 12. 診療ガイドライン作成にあたって、もしあれば有用であった支援体制はどれですか。
あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 診療ガイドライン作成方法についてのマニュアル
- 2 診療ガイドラインの専門家の協力
- 3 文献検索の専門家の協力
- 4 医療経済の専門家の協力
- 5 診療ガイドラインのデータベース
- 6 その他（具体的に： _____)

問 13. 診療ガイドライン作成にあたっての先生のお考え、問題点、支援体制などについて
 ご記入ください。

問 14. もし、この診療ガイドラインを改定するとした場合、どのような点に特に留意されますか。
 ご自由にご記入ください。

先生のご連絡などをお教えてください。

お名前	
ご所属施設	
住所	
電話	()
ファックス	()
電子メール	@

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

平成 25 年 2 月 8 日

診療ガイドライン・クリティカルパスの導入状況についての

アンケート調査のお願い

厚生労働科学研究「EBMに基づく診療ガイドラインの
導入が医療に与える影響に関する調査」

研究代表者 長谷川 友紀

EBM 手法に基づいた診療ガイドラインの整備は、医療の標準化を確保し、質の向上を図るための有力な手法です。2000 年以降、厚生労働科学研究費補助金等により開発が進められ、現在は主に各学会の自主的な活動として年間約 30 本（改定版も含む）が作成されております。また、提供する医療内容の標準化を目的として、診療ガイドラインやクリティカルパス（クリニカルパス）の利活用が多くの病院で推し進められております。しかしながら、実際の診療における、診療ガイドラインやクリティカルパス等の導入状況、それを支える院内体制については、十分に明らかになっていないのが現状です。

私どもの研究班では、DPC 病院を対象としてアンケート調査を実施し、診療ガイドライン、クリティカルパスの利活用の現状などについて明らかにしたいと考えております。

ご多忙のおり、まことに恐縮ではありますが、アンケート調査にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アンケート調査ご回答の注意

- 病院の代表者、または院内において診療ガイドラインやパスの導入にあたり委員会等でその取りまとめを行われた方にご回答をお願いします。
- 番号に○、あるいは、空欄に記入をしてください。
- 設問内容により複数回答可です。
- 集計の都合上、2013 年 2 月末までに同封の返信用封筒にてご返送ください。
お忙しいところまことに恐縮ではありますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

<連絡先>

〒143-8540 大田区大森西 5-21-16
東邦大学医学部社会医学講座
電話 03-3762-4151 内 2415
ファックス 03-5493-5417
担当：瀬戸、北澤

【病院の属性についてお聞きします。】

問1 貴院の所在地をお答えください。
 () 【都・道・府・県】

問2 病院の設立主体をお答えください。

- | | | | |
|---|-------------|---|-----------|
| 1 | 国／国立病院機構 | 2 | 自治体 |
| 3 | 公的（日赤／済生会等） | 4 | 社会保険関係団体 |
| 5 | 学校法人 | 6 | 公益法人／医療法人 |
| 7 | その他法人 | 8 | 個人 |

問3 診療科目数、平均入院/外来患者数、看護体制、医師数、全職員数をお答えください。
 (平成24年12月31日現在)

診療科目数	診療科
平均入院患者数	人/日
平均外来患者数	人/日
看護師の配置基準（一般病床）	対 1
医師数（常勤換算）	人
全職員数（常勤換算）	人

問4 許可病床数、平均在院日数、病床利用率をお答えください(平成24年12月31日現在)。

	一般病床	療養病床	その他	合計
許可病床数	床	床	床	床
平均在院日数	日			日
病床利用率	%			%

問5 病院情報システム（電子カルテ、オーダーリングシステム）の導入（電子化）の状況についてお答えください。

- 電子カルテの導入（紙カルテは用いていない）
- 電子カルテの導入（紙カルテとの併用）
- オーダーリングシステムのみの導入
- 導入していない

【院内での標準化や質向上の取り組みについてお聞きします。】

問6 院内における医療の標準化を推進するために取り組んでいることについて、あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 診療ガイドラインの利用
- 2 クリティカルパスの利用
- 3 その他 (具体的に:)
- 4 取り組んでいるものはない

問7 医療の質向上を目的とした活動について、あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 医療機能評価機構による病院機能評価
- 2 ISO 認証 (具体的に:)
- 3 その他の外部組織による認定・認証
(具体的に:)
- 4 全日本病院協会の Medi-Target 事業
- 5 その他の外部組織の行う医療の質評価を目的とした事業への参加
(具体的に:)
- 6 その他 (具体的に:)
- 7 取り組んでいるものはない

問8 医療の標準化や質向上を目的とした院内組織を構成していますか。
主としてクリティカルパスに関わる活動組織については問9でお答えください。

- 1 はい 2 いいえ **【問9にお進みください】**

【問8 で「1 はい」と回答された方にお聞きします】

複数ある場合には、主要な院内組織1つについてお答えください。

問8-1 委員会及び当該部署の名称をお答えください。

()

問8-2 何人で構成していますか。

() 人

問8-3 どのような職種で構成されていますか。(あてはまるものすべてに○をおつけください。そのうち責任者の方に◎をおつけください。)

- 1 医師
- 2 看護師
- 3 薬剤師
- 4 栄養士
- 5 技師
- 6 診療情報管理士
- 7 理学療法士・作業療法士
- 8 事務
- 9 その他 (具体的に:)

問8-4 専任のスタッフを配置していますか。

- 1 はい 2 いいえ



【問9にお進みください】



問8-4-1 専任のスタッフは何人いますか。

() 人

問8-4-2 専任のスタッフの職種をお答えください。

- 1 医師
- 2 看護師
- 3 薬剤師
- 4 栄養士
- 5 技師
- 6 診療情報管理士
- 7 理学療法士・作業療法士
- 8 事務
- 9 その他 (具体的に:)

【院内でのクリティカルパスの利用状況についてお聞きします。】

問9 院内でクリティカルパスを使用していますか。

1 はい

2 いいえ

【問21にお進みください】

【問9で「1 はい」と回答された方にお聞きします】

問9-1 クリティカルパスは院内のどの範囲で使用されていますか。

1 病院全体で使用

2 特定の診療科で使用（具体的に： ）

3 その他（具体的に： ）

問10 院内でクリティカルパスの委員会を設置していますか。

1 はい

2 いいえ

【問11にお進みください】

【問10で「1 はい」と回答された方にお聞きします】

問10-1 何人で構成していますか。

() 人

問10-2 クリティカルパス委員会の構成メンバーをお答えください。（あてはまるものすべてに○をおつけください。そのうち責任者の方に◎をおつけください。）

1 医師

2 看護師

3 薬剤師

4 栄養士

5 技師

6 診療情報管理士

7 理学療法士・作業療法士

8 事務

9 その他（具体的に： ）

問10-3 当該委員会はどのくらいの頻度で開催されますか。

年に（ ）回

問 11 クリティカルパス作成の際にどのような資源を用いて作成していますか。
あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 当該疾患の診療ガイドライン
- 2 自院内のレジメン
- 3 クリティカルパスライブラリー（医療情報システム開発センター）
- 4 学会等の外部組織が作成したクリティカルパス
- 5 当該疾患の自院での医療コスト
- 6 厚生労働省の公表する DPC データ
- 7 外部組織の行う医療の質評価を目的とした事業のデータ
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 特に参考にしていないものはない

問 12 クリティカルパスを院内で運用（パス作成上、パス利用上を含む）するにあたり困っている項目について、あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 多職種での合意・協力体制の構築
- 2 医師との合意・協力体制の構築
- 3 パスの改定のタイミング
- 4 電子化への移行
- 5 医療コストの算出
- 6 バリエーションなどのデータの収集
- 7 バリエーションの集計や分析
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 特に困っていることはない

問 13 院内で使用している、医療者用クリティカルパスの数を外来、入院それぞれについてお答えください。（平成 24 年 12 月 31 日現在）

医療者用クリティカルパス（外来用）	_____	件
医療者用クリティカルパス（入院用）	_____	件

問 14 患者の説明用として使用している、患者用クリティカルパスの数を外来、入院それぞれについてお答えください。（平成 24 年 12 月 31 日現在）

患者用クリティカルパス（外来用）	_____	件
患者用クリティカルパス（入院用）	_____	件

問 15 平成 23 年度（または平成 24 年）退院患者における医療者用クリティカルパス、患者用クリティカルパスの使用割合をお答えください。

	A 全退院患者に占める% (パスの使用患者/ 全退院患者)	B クリティカルパスの 対象疾患患者に占める% (パスの使用患者/ パスの対象疾患の患者)
医療者用クリティカル パス使用割合	%	%
患者用クリティカル パス使用割合	%	%

問 16 使用している医療用クリティカルパスのうち患者の使用割合が高い疾患もしくは手術について上位 3 位をお答えください。(問 15 の B に該当します)


1 位	
2 位	
3 位	


問 17 クリティカルパスを電子化していますか。

- 1 電子化している (全部を)
- 2 電子化している (一部を)
- 3 電子化していない

問 18 バリエーションの分析を実施していますか。

- 1 実施している
- 2 実施していない

 **【問 19 にお進みください】**

 **【問 18 で「1 実施している」と回答された方にお聞きします】**

問 18-1 どのようなクリティカルパスに実施していますか。

- 1 全てのクリティカルパス
- 2 使用頻度の高いクリティカルパス
- 3 脱落率の高いクリティカルパス
- 4 その他 (具体的に: _____)

問 18-2 誰がバリエーションの分析を行っていますか。

- 1 クリティカルパス委員会
- 2 医療の標準化や質向上を目的とした院内組織
- 3 その他 (具体的に: _____)

問 19 クリティカルパスの改定を実施していますか。

- 1 実施している 2 実施していない

【問 20 にお進みください】

【問 19 で「1 実施している」と回答された方にお聞きします】

問 19-1 どのようなタイミングで改定を行なっていますか。

あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 バリエーションの分析を行い必要とされた場合
- 2 診療ガイドラインが改定された場合
- 3 診療報酬の改定により、医療費の問題が発生した場合
- 4 定期的実施（ 年毎に）
- 5 その他（具体的に： ）

問 19-2 年間にいくつ位の改定を行ってありますか。

（ ）件

問 20 クリティカルパスの導入の目的として重視した項目、導入により達成された項目のそれぞれについて、あてはまる欄すべてに○をおつけください。

	導入の目的として重視した項目	導入により達成された項目
1 平均在院日数の短縮		
2 医療の質の向上		
3 収益性の向上		
4 病床稼働率の上昇		
5 医療内容の標準化		
6 業務改善		
7 チーム医療の推進		
8 医療安全の向上		
9 患者との情報共有の向上		
10 患者満足度の向上		
11 職員の教育・研修の体系化・効率化		
12 職員の時間外勤務の短縮		
13 その他 （ <u>具体的に</u> ： ）		

【院内での診療ガイドラインの利用についてお聞きします。】

問 21 診療にあたり、診療ガイドラインの利用を病院として推奨していますか。
病院としてのお考えをお答えください。

- 1 推奨している
- 2 どちらともいえない
- 3 推奨していない

【問 21 で「1 推奨している」と回答された方にお聞きします】

問 21-1 診療ガイドラインを実際にどのような状況で利用されていますか。
あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 患者への説明の資料
- 2 治療方針の策定
- 3 クリティカルパス作成
- 4 新規薬剤の採用
- 5 職員の教育研修
- 6 その他（具体的に：)

問 21-2 診療ガイドラインのうち、もっともしばしば利用するのは、どの疾患に対するものですか。上位 3 位をお答えください。

1 位	
2 位	
3 位	

問 21-3 院内において EBM（根拠に基づいた医療）を実践するために、臨床支援ツールを導入していますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 Up To Date
- 2 ACP PIER
- 3 Clinical Evidence
- 4 DynaMed
- 5 コクランライブラリー
- 6 病院としてのガイドライン
- 7 その他（具体的に：)
- 8 臨床支援ツールは導入していない

問 22 診療ガイドラインを、患者・家族が院内施設で閲覧出来る体制を整備していますか。

- 1 整備している 2 整備していない



【問 22 で「1 整備している」と回答された方にお聞きします】

問 22-1 どこで閲覧できますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 外来
2 病棟
3 患者図書室
4 職員図書室
5 その他（具体的に： ）

問 22-2 どのような媒体で閲覧できますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

- 1 紙媒体（雑誌・書籍等）
2 電子媒体（パソコン、タブレット端末等）
3 その他（具体的に： ）

問 22-3 診療ガイドラインのうち、もっともしばしば患者・家族が利用するのは、どの疾患に対するものですか。上位3位をお答えください。

1位	
2位	
3位	

問 23 病院としての医療の標準化、質向上に関連した取組み、本調査について、ご意見などがありましたら、記載をお願いします。

【回答者についてお聞きします。】

問 24 回答者の役職をお答えください

- 1 理事長
2 院長
3 副院長
4 診療部長
5 看護部長
6 その他（ ）

以上でアンケートは終了です。
お忙しいところご協力ありがとうございました。

